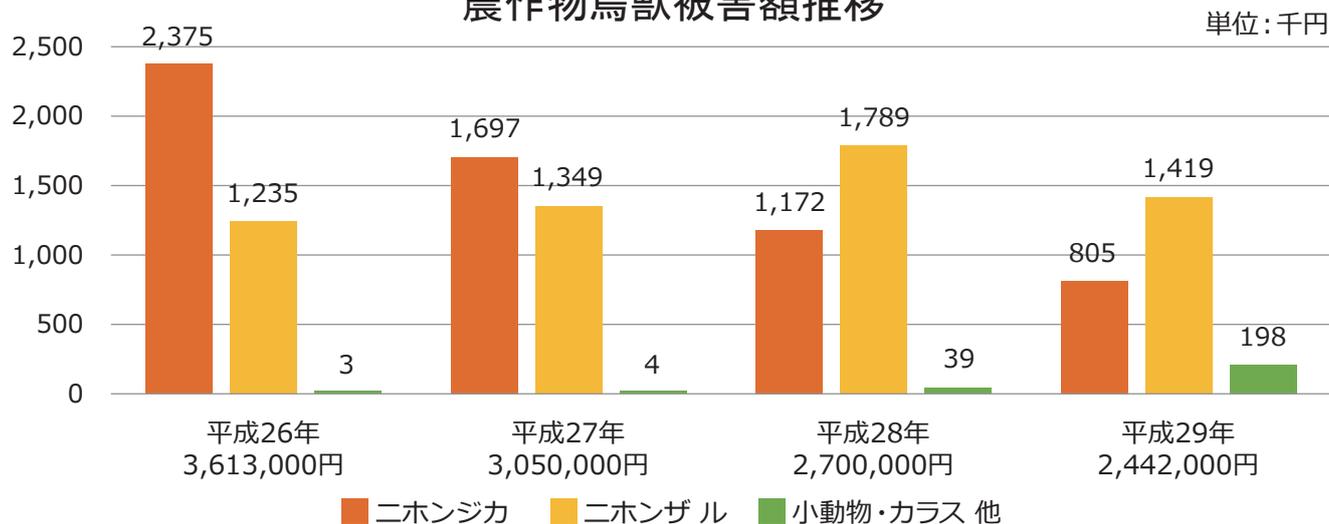


富士見町有害鳥獣対策の現状

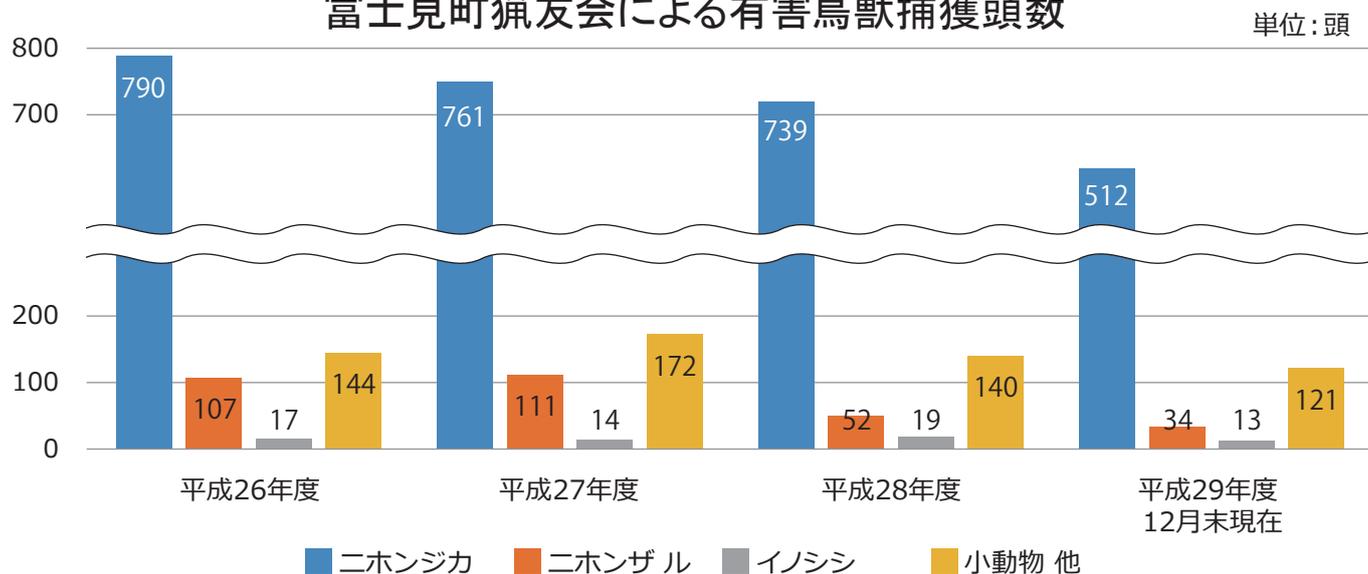
町では今年も、皆様からの有害鳥獣被害報告を元に、被害額等の算出を行いました。
 その結果、依然として200万円以上の被害が報告されていますが、報告される被害額は緩やかに減少しており、特にニホンジカの被害は100万円を下回るなど、確実に減少していることが分かりました。今までの被害額の推移は下の表のとおりです。

農作物鳥獣被害額推移



捕獲活動にご協力をお願いします

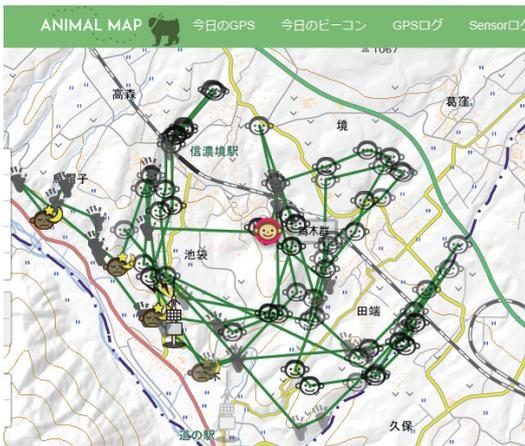
富士見町猟友会による有害鳥獣捕獲頭数



長野県や町の被害防止計画等に基づき、ニホンジカをはじめとした有害鳥獣の個体数調整を、富士見町猟友会に委託して実施しています。猟友会の協力によって、ニホンジカの捕獲数は非常に高い水準が保たれており、これがニホンジカの農作物被害額減少に大きく貢献しています。

一層の有害鳥獣捕獲のため、捕獲活動に対するご理解と、効率的な捕獲のため地域の方々の目撃情報や、一時的なわな設置場所提供に、ご協力をお願いいたします。

ニホンザルの集中捕獲を行っています



▲サルの移動経路が確認できます

わなは毎日見回りを行っています。もしサルがわなにかかっているのを発見した場合は、誤作動や怪我防止のため、手を触れず、担当課までご連絡ください。

平成28年11月、上蔦木で捕獲したサルにGPS発信機を装着し、約1年間の追跡調査を行いました。昨年12月より、追跡データを基にした箱わなによるニホンザル集中捕獲事業を行っており、事業開始1か月で8頭捕獲するなど、群れのサイズ抑制に大きな成果を上げています。

今後は他の群れも、発信機による追跡調査結果を踏まえた、効率的な捕獲活動を実施していく予定です。



個人設置電気柵への補助金が始まりました



▲個人宅に設置された電気柵

平成29年4月より、個人が設置する有害鳥獣被害防止柵用電気柵の資材購入に要する費用に対し、補助を受けられるようになりました。設置申請者が出荷農家である必要はなく、ご自宅の家庭菜園を守るための電気柵であっても、交付要件を満たせば補助を受けることができます。

平成29年度は5件の申請があり、いずれもニホンザルやニホンジカ、ハクビシンの被害に対し、高い効果を発揮しています。

詳しくは担当課までお問い合わせください。

「サルに負けない集落」をつくりませんか



▲上蔦木区で行われたモデル集落事業の様子

主にニホンザルに対して、専門家と共に被害状況を整理し、集落の強みや弱みを考慮しながら、対策講習会や追払い講習会などを行う「モデル集落事業」の実施を希望する集落を募集します。

平成28年度に上蔦木区で実施した際は、メーカーや専門家の指導のもと、トウモロコシ畑に電気柵を設置した結果、毎年悩まされていたニホンザルやハクビシンの被害がゼロになり、美味しいトウモロコシが収穫できる畑となりました。対策方法は集落によっても様々です。集落診断のみ、講習会のみ、でも応募可能です。

希望集落は担当課までご連絡ください。